
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第34週
(8月17日～8月23日)

- * 2009年8月26日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2009年7月)の疾患も掲載しています。

平成21(2009)年8月27日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年34週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		31週	32週	33週	34週		34週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	68	71	53	36	2622	246	17001
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ				1	2	1	6
	細菌性赤痢	1	1	3	4	30	5	113
	腸管出血性大腸菌感染症	22	15	10	17	166	101	2037
	腸チフス	1				10		21
	パラチフス	1				6		14
四類	E型肝炎					6	1	31
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					10		83
	エキノコックス症					1		15
	黄熱							
	オウム病					1		15
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					2	1	107
	デング熱				1	13	3	43
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱						1	49
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア		2	1		17	1	42
野兔病								
ライム病	1				1		5	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	2	1	1	34	4	450	
レプトスピラ症							6	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		31週	32週	33週	34週		34週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	7	3	2	92	9	522
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)				1	26		147
	急性脳炎 *2				1	15	2	147
	クリプトスポリジウム症					1		12
	クロイツフェルト・ヤコブ病					11		82
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					9	1	78
	後天性免疫不全症候群	10	9	11	9	331	15	959
	ジアルジア症			1		18	1	53
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		9
	先天性風しん症候群							
	梅毒	2	6	1	1	132	6	457
	破傷風		1			4		67
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1	1	10	3	63
	風しん		2			10	1	125
麻しん		3	1	6	87	15	577	
新型※	新型インフルエンザ ※2 ※3	201	257	239	146	1114	—	4986
2009/8/26計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※新型インフルエンザ等感染症 ※2 2009年4月28日に指定された。2009年4月28日から7月23日の期間は全数届出。2009年7月24日以降は集団発生事例に関連した届出。

※3 全国集計は7月24日6:00現在の国内発生の累計値(検疫対象者を含まない。)

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 36件 肺結核19件、その他の結核4件、無症状病原体保有者13件で、推定感染地は全て国内、年齢は10歳未満1件、10歳代2件、20歳代4件、30歳代6件、40歳代4件、50歳代4件、60歳代3件、70歳代4件、80歳代8件であった。

〈三類感染症〉

コレラ 1件 O1小川型で、推定感染地はインド、飲食による経口感染が推定されている。

細菌性赤痢 4件 全て患者で、菌種はフレキシネル1件、ソネネ3件である。推定感染地は国内1件(フレキシネル)、インドネシア(バリ)、ベトナム、中国(上海)で、推定感染経路は飲食物による経口感染3件、その他(不明)1件であった。

腸管出血性大腸菌感染症 17件 患者13件、無症状病原体保有者4件。血清型・毒素型はO157(VT1VT2)8件、O157(VT1)2件、O157(VT2)2件、O157(毒素型不明)2件、O121(VT2)1件、O165(VT2)1件、血清型不明(VT1VT2)1件で、O157(VT1VT2)1件はHUSを発症している。年齢は10歳未満4件(うち5歳未満3件)、10歳代4件、20歳代4件、40歳代3件、50歳代1件、60歳代1件であった。

〈四類感染症〉

デング熱 1件 推定感染地はフィリピン(マニラ)である。

レジオネラ症 1件 肺炎型で、年齢は60歳代。推定感染地は国内(長野県)である。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 2件 いずれも腸管アメーバ症で、推定感染地は国内である。推定感染経路は飲食物(水)による経口感染1件、その他(不明)1件であった。

ウイルス性肝炎 1件 B型で、推定感染地は中国、推定感染経路は異性間性的接触である。

急性脳炎 1件 エンテロウイルスによる脳炎で、年齢は10歳未満であった。

後天性免疫不全症候群 9件 無症候キャリア7件、その他2件で、無症候キャリアおよびその他の年齢は30歳代3件、40歳代3件、50歳代2件、70歳代1件であった。推定感染地は国内8件、不明1件、推定感染経路はすべて性的接触(同性間)であった。

梅毒 1件 無症候で、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(異性間)であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 創部感染症の症状を呈し、膿から菌が分離・同定されている。

麻しん 6件 麻しん(検査診断例)1件、麻しん(臨床診断例)2件、修飾麻しん(検査診断例)3件で、年齢は10歳未満3件(うち5歳未満3件)、20歳代2件、40歳代1件。麻しん含有ワクチン接種歴は無し2件、1回2件、不明2件であった。

〈新型インフルエンザ等感染症〉

新型インフルエンザ 146件 患者(確定例)26件、疑似症120件で、年齢は10歳未満71件(うち5歳未満11件)、10歳代36件、20歳代19件、30歳代12件、40歳代2件、50歳代2件、60歳代2件、70歳代2件であった。

※第31週該当分として、新型インフルエンザ等感染症 新型インフルエンザ 1件、第32週該当分として、新型インフルエンザ等感染症 新型インフルエンザ 9件、梅毒1件(早期顕性Ⅱ期、推定感染経路・性的接触<同性間>)、第33週該当分として、新型インフルエンザ等感染症 新型インフルエンザ 23件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年34週

定点種別	対象疾患	2009年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		31週	32週	33週	34週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	7	19	15	20	0.14	141	150
	咽頭結膜熱	39	24	14	11	0.08		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	95	86	50	72	0.51		
	感染性胃腸炎	459	404	218	385	2.73		
	水痘	81	74	44	65	0.46		
	手足口病	293	276	176	167	1.18		
	伝染性紅斑	45	41	14	33	0.23		
	突発性発しん	92	103	78	83	0.59		
	百日咳	2	8	3	1	0.01		
	ヘルパンギーナ	257	286	183	164	1.16		
	流行性耳下腺炎	126	139	80	98	0.70		
	不明発しん症 (注1)	26	33	29	25	0.18		
MCLS(川崎病) (注1)	2	1	1	0	0.00			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	277	466	550	711	2.64	269	290
眼科	急性出血性結膜炎	2	0	0	0	0.00	38	39
	流行性角結膜炎	17	21	6	17	0.45		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	1	1	0	1	0.04	24	24
	無菌性髄膜炎	2	2	1	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	10	8	5	6	0.25		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	1	0	0.00		

2009/8/26集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・インフルエンザの定点当たり報告数はさらに増加した。感染症法施行(1999年)以来、同時期としては最も報告数が多く、注意が必要である。
- ・流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は先週より増加した。過去5年間平均と比較して高いレベルで推移している。

(定点医療機関からのコメント)

* インフルエンザに関するコメントは13-14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年34週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	3			5				1		
～11か月	6		1	35	1	18		42		17
1歳	8	3	3	61	6	51	5	29		50
2歳	3	3	5	42	14	34	4	9		37
3歳		2	3	23	13	32	8	1		24
4歳		1	9	25	11	12	4			15
5歳		1	12	28	11	9	4	1		4
6歳		1	11	23	6	1	4			6
7歳			10	14		4	1			3
8歳			6	12	1	1	2			
9歳			5	13	1					1
10～14歳			2	42		3	1			2
15～19歳			2	10	1					2
20～29歳			3	52		2			1	3
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	20	11	72	385	65	167	33	83	1	164
先週比	5	-3	22	167	21	-9	19	5	-2	-19

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月				2		
～11か月	1	6		4		
1歳	3	9		17		
2歳	10	3		19		
3歳	16	2		26		
4歳	15	1		34		1
5歳	19	3		42		
6歳	13			33		
7歳	3			36		
8歳	6			25		1
9歳	3	1		25		
10～14歳	6			119		
15～19歳	2			117		
20～29歳	1			114		3
30～39歳				45		4
40～49歳				35		4
50～59歳				11		4
60～69歳				4		
70～79歳				1		
80歳以上				2		
合計	98	25		711		17
先週比	18	-4	-1	161		11

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】 2009年34週

	風しん	麻しん
0歳		1
1歳		2
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		2
30～39歳		
40～49歳		1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計		6

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年34週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田						6				
中央区			1	4	4	2		3		4
みなと	1	3	3	18	1	10		5		11
新宿区	1			8	3	3		3		5
文京	1					2				1
台東			1	18	3	1	1	3		5
墨田区	1			5		3		1		2
江東区	1		1	14	1	2		2		6
品川区		2	4	29		5	4	2		4
目黒区		1		2		6				4
大田区	2	1	1	28	1	18	3	4		10
世田谷			1	22	1	10	1	3		16
渋谷区		1		8		2				3
中野区			4	22	2	8		3		10
杉並		1	2	14		13		4		1
池袋			1	10	1	2				3
北区			1	1	2	2	1	3	1	1
荒川区	2		5	2	2		1	3		2
板橋区			1	9		9				
練馬区				7		13	4	4		4
足立			3	11	3	2	1	5		2
葛飾区			3	5	10	5		5		9
江戸川				8	4	3				3
八王子市		1	11	43	5	8	2	7		8
西多摩				6	3	2		1		1
南多摩				6	5	1		3		4
町田	1		18	34	6	14	5	8		21
多摩立川				7	1	1		3		3
多摩府中	1	1	2	8		5	1	5		9
多摩小平	9		9	36	7	9	9	3		11
島しょ										1
東京都合計	20	11	72	385	65	167	33	83	1	164

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2009年34週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				2		
中央区				13		
みなと	3	2		26		
新宿区	1			15		2
文京				9		1
台東	1			7		
墨田区	3	1		18		
江東区	7	1		13		
品川区	2	1		14		
目黒区	1			7		
大田区	7			46		
世田谷	3			51		
渋谷区				10		
中野区	1	2		18		3
杉並	1			49		
池袋				14		
北区	3	1		17		
荒川区		1		11		4
板橋区		1		17		1
練馬区	2			13		1
足立	4	1		25		1
葛飾区	4	1		43		
江戸川	1			24		
八王子市	18	3		14		2
西多摩	3			21		
南多摩	2	1		26		
町田	13	5		17		
多摩立川	8			40		
多摩府中	4	4		61		2
多摩小平	6			57		
島しょ				13		

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		1
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		1
杉並		
池袋		
北区		2
荒川区		
板橋区		
練馬区		1
足立		
葛飾区		1
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	98	25	-	711	-	17
-------	----	----	---	-----	---	----

東京都合計		6
-------	--	---

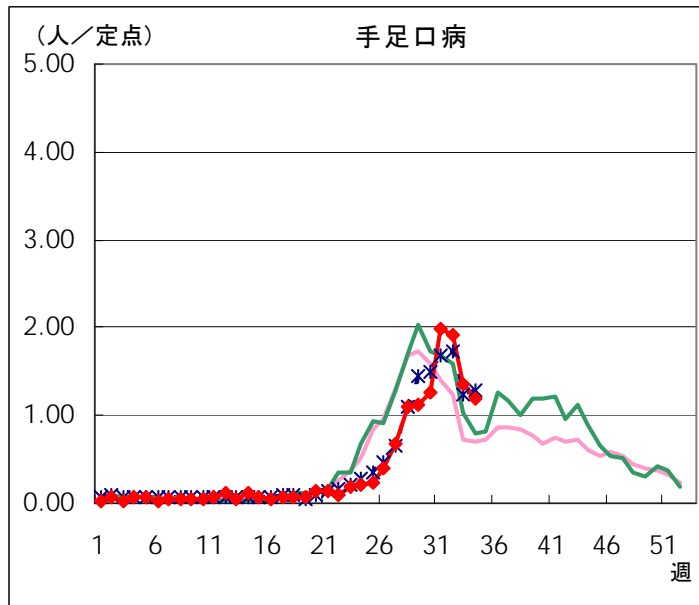
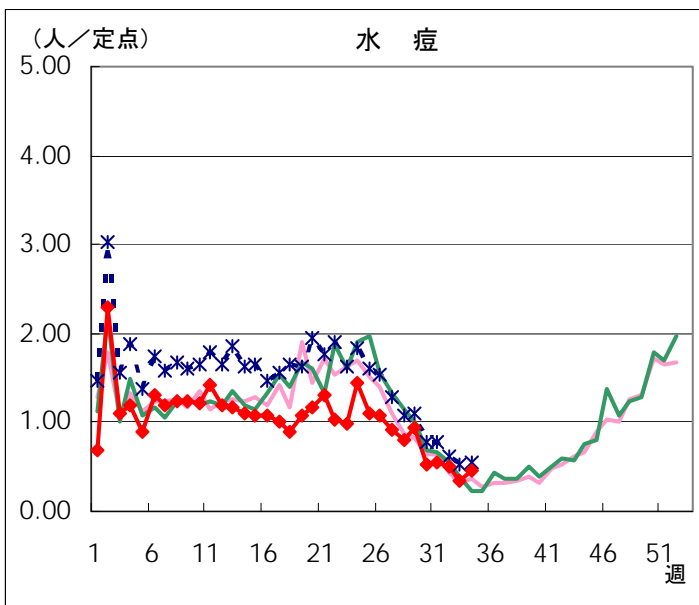
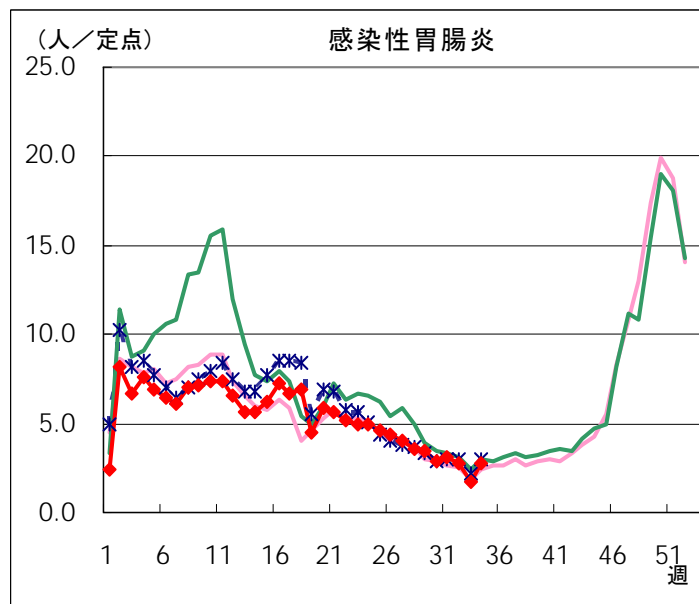
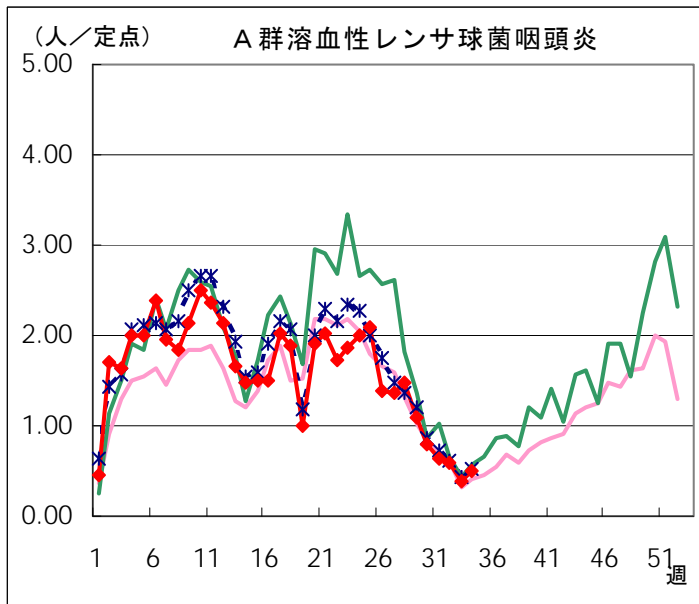
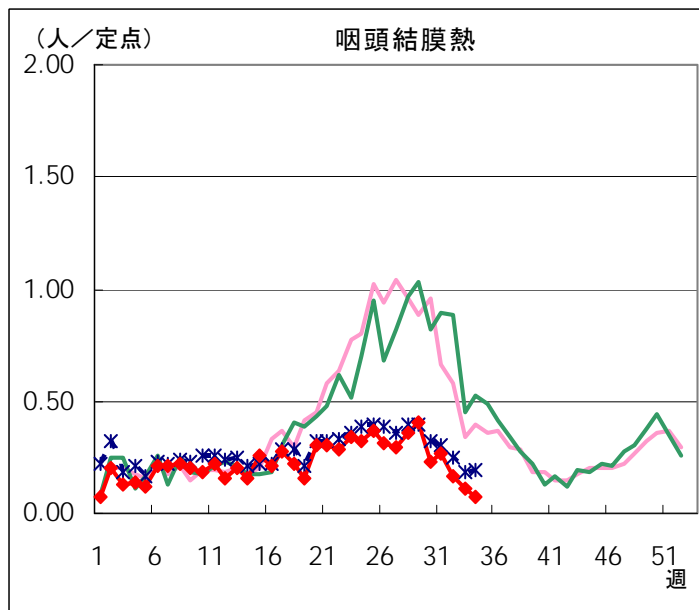
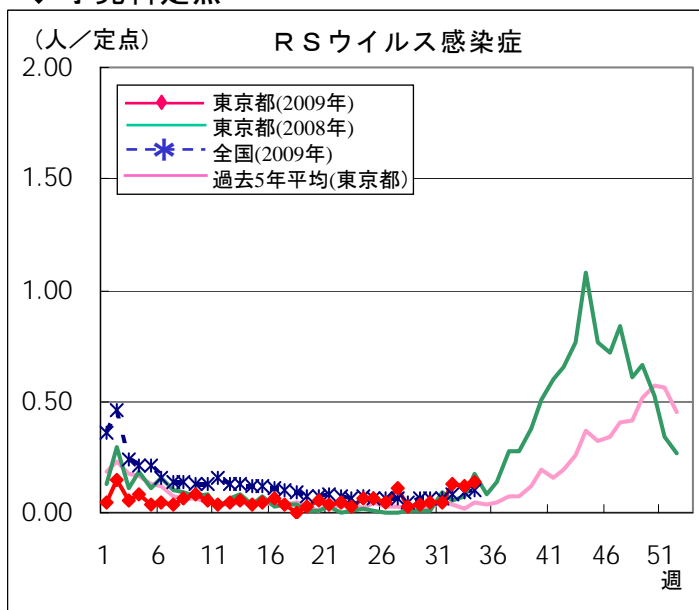
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年34週

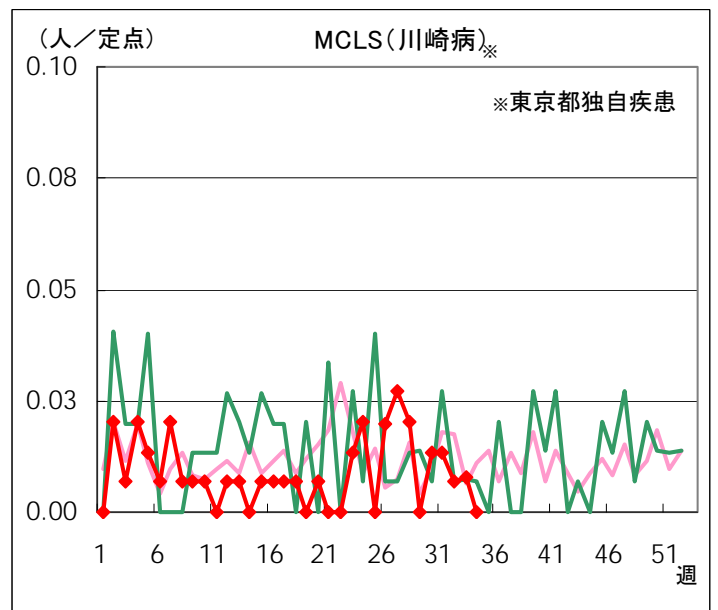
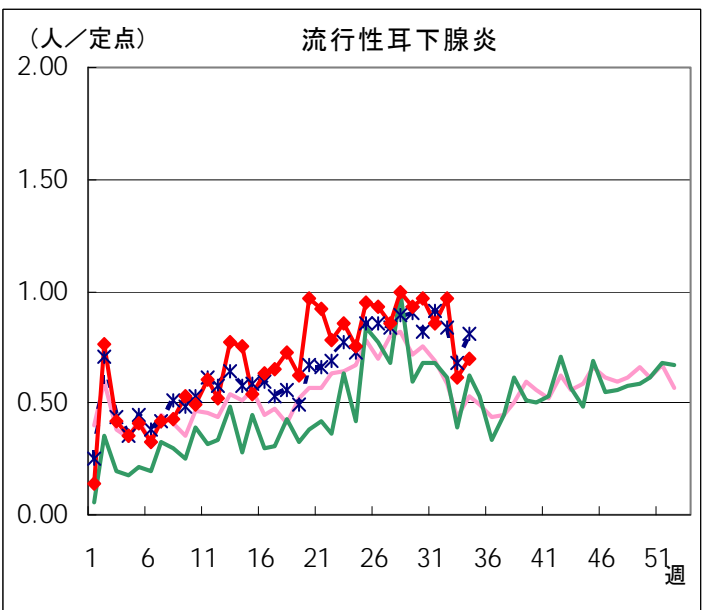
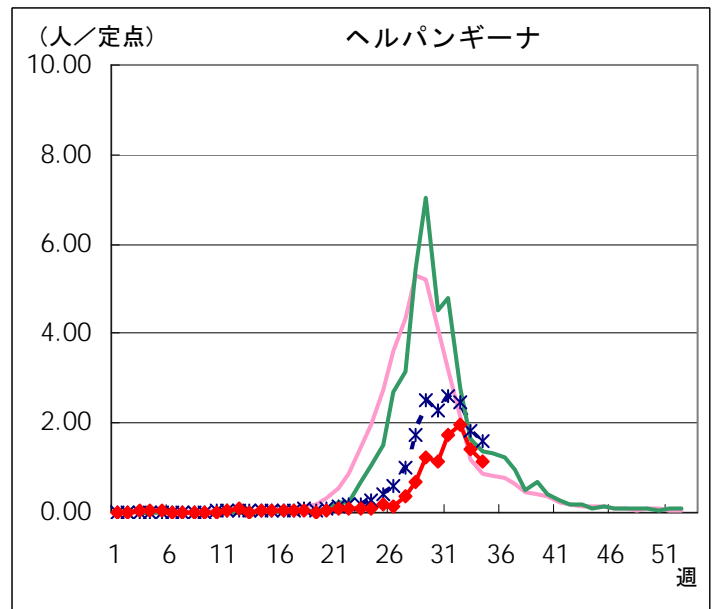
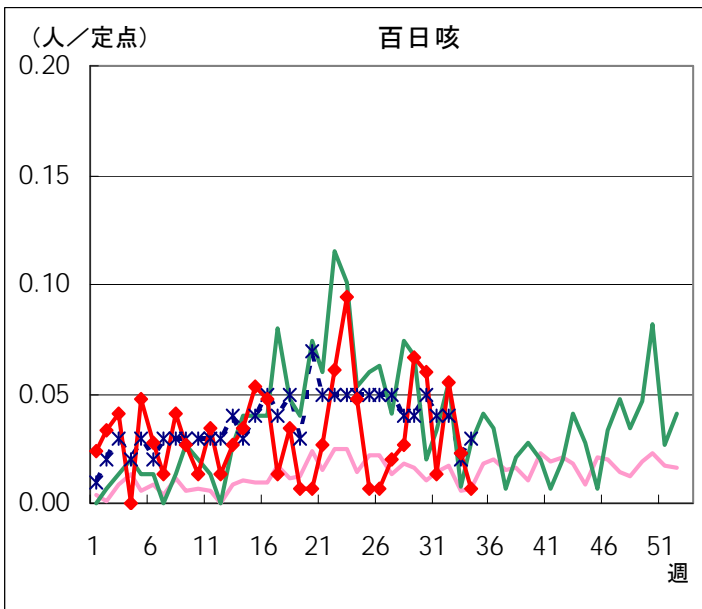
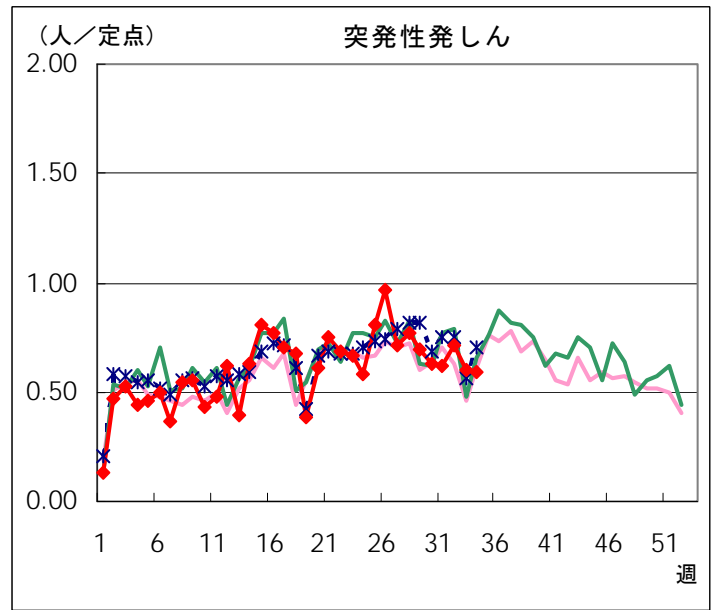
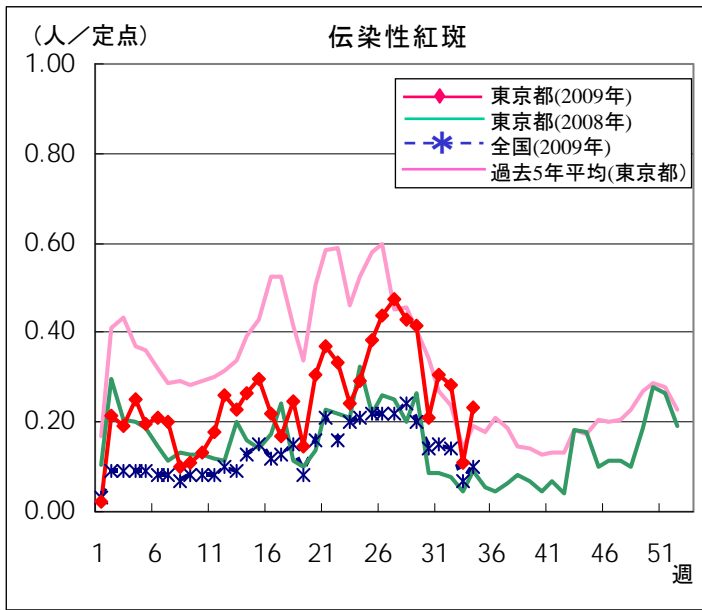
定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田						1.50				
中央区			0.33	1.33	1.33	0.67		1.00		1.33
みなと	0.17	0.50	0.50	3.00	0.17	1.67		0.83		1.83
新宿区	0.17			1.33	0.50	0.50		0.50		0.83
文京	0.33					0.67				0.33
台東			0.33	6.00	1.00	0.33	0.33	1.00		1.67
墨田区	0.33			1.67		1.00		0.33		0.67
江東区	0.33		0.33	4.67	0.33	0.67		0.67		2.00
品川区		0.40	0.80	5.80		1.00	0.80	0.40		0.80
目黒区		0.33		0.67		2.00				1.33
大田区	0.29	0.14	0.14	4.00	0.14	2.57	0.43	0.57		1.43
世田谷			0.13	2.75	0.13	1.25	0.13	0.38		2.00
渋谷区		0.25		2.00		0.50				0.75
中野区			0.67	3.67	0.33	1.33		0.50		1.67
杉並		0.17	0.33	2.33		2.17		0.67		0.17
池袋			0.20	2.00	0.20	0.40				0.60
北区			0.25	0.25	0.50	0.50	0.25	0.75	0.25	0.25
荒川区	1.00		2.50	1.00	1.00		0.50	1.50		1.00
板橋区			0.20	1.80		1.80				
練馬区				1.40		2.60	0.80	0.80		0.80
足立			0.60	2.20	0.60	0.40	0.20	1.00		0.40
葛飾区			0.75	1.25	2.50	1.25		1.25		2.25
江戸川				2.67	1.33	1.00				1.00
八王子市		0.25	2.75	10.75	1.25	2.00	0.50	1.75		2.00
西多摩				1.20	0.60	0.40		0.20		0.20
南多摩				2.00	1.67	0.33		1.00		1.33
町田	0.25		4.50	8.50	1.50	3.50	1.25	2.00		5.25
多摩立川				1.17	0.17	0.17		0.50		0.50
多摩府中	0.10	0.10	0.20	0.80		0.50	0.10	0.50		0.90
多摩小平	1.80		1.80	7.20	1.40	1.80	1.80	0.60		2.20
島しょ										1.00
東京都	0.14	0.08	0.51	2.73	0.46	1.18	0.23	0.59	0.01	1.16

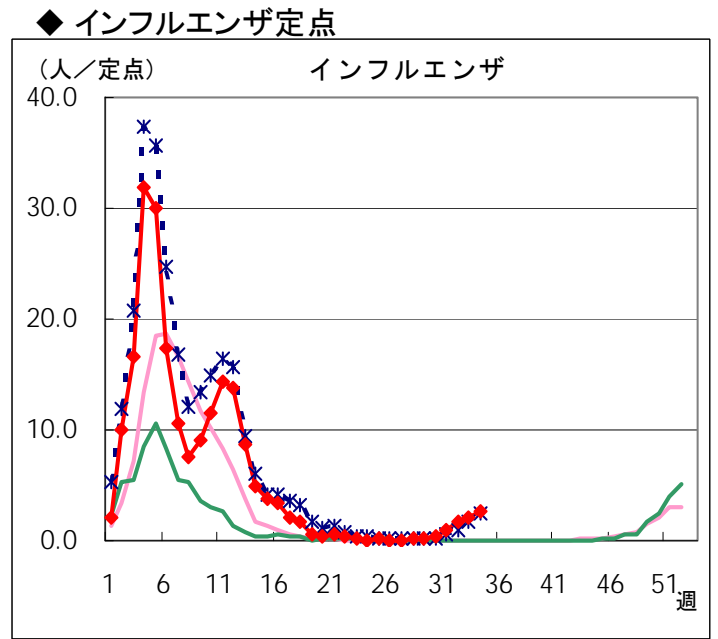
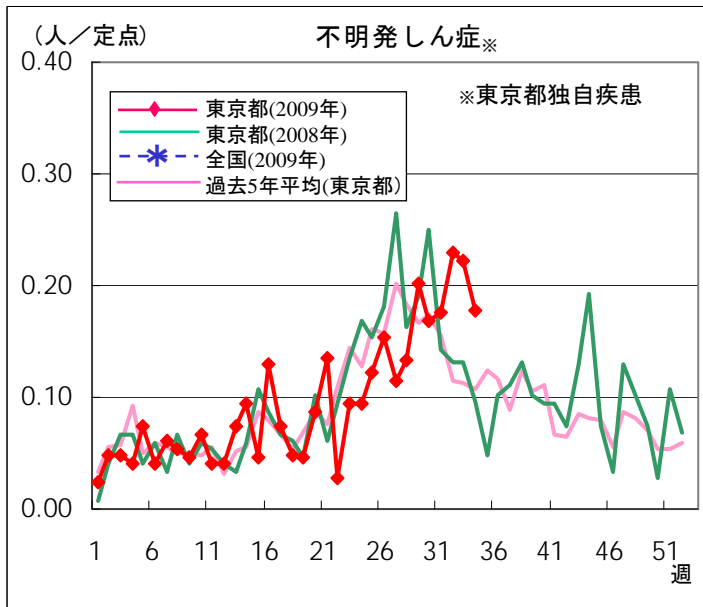
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				0.40		
中央区				3.25		
みなと	0.50	0.33		3.25		
新宿区	0.17			1.67		1.00
文京				1.80		1.00
台東	0.33			1.75		
墨田区	1.00	0.33		3.00		
江東区	2.33	0.33		1.63		
品川区	0.40	0.20		1.56		
目黒区	0.33			1.17		
大田区	1.00			3.29		
世田谷	0.38			3.40		
渋谷区				1.67		
中野区	0.17	0.33		2.00		3.00
杉並	0.17			5.44		
池袋				1.75		
北区	0.75	0.25		2.43		
荒川区		0.50		2.75		4.00
板橋区		0.20		1.70		0.50
練馬区	0.40			1.08		0.50
足立	0.80	0.20		2.08		0.50
葛飾区	1.00	0.25		5.38		
江戸川	0.33			3.00		
八王子市	4.50	0.75		1.40		1.00
西多摩	0.60			2.33		
南多摩	0.67	0.33		3.25		
町田	3.25	1.25		1.89		
多摩立川	1.33			3.08		
多摩府中	0.40	0.40		3.21		0.67
多摩小平	1.20			4.38		
島しょ				6.50		
東京都	0.70	0.18	-	2.64	-	0.45

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年34週現在

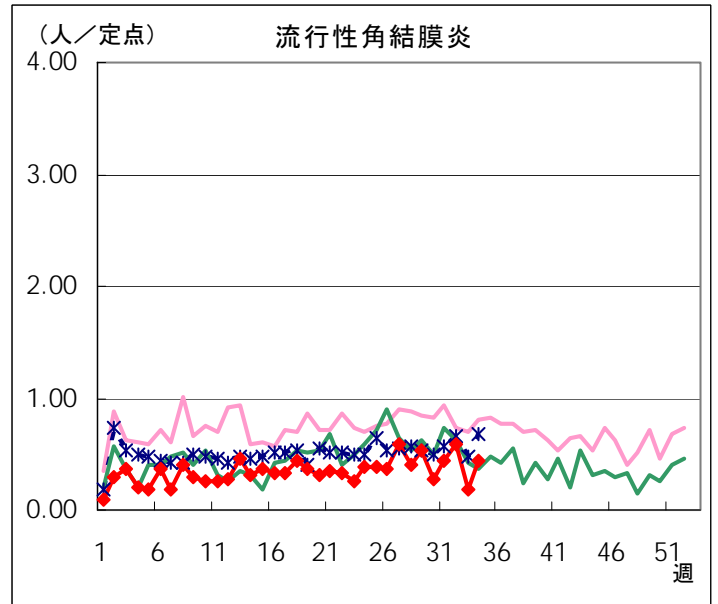
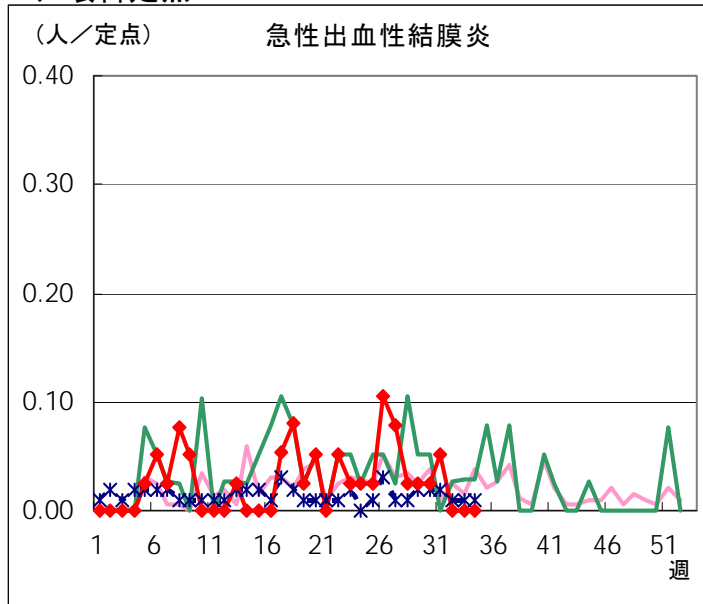
◆ 小児科定点



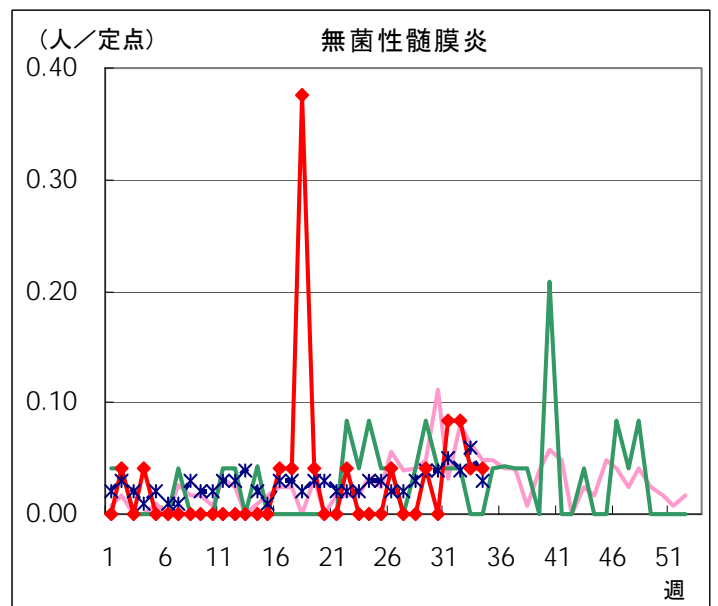
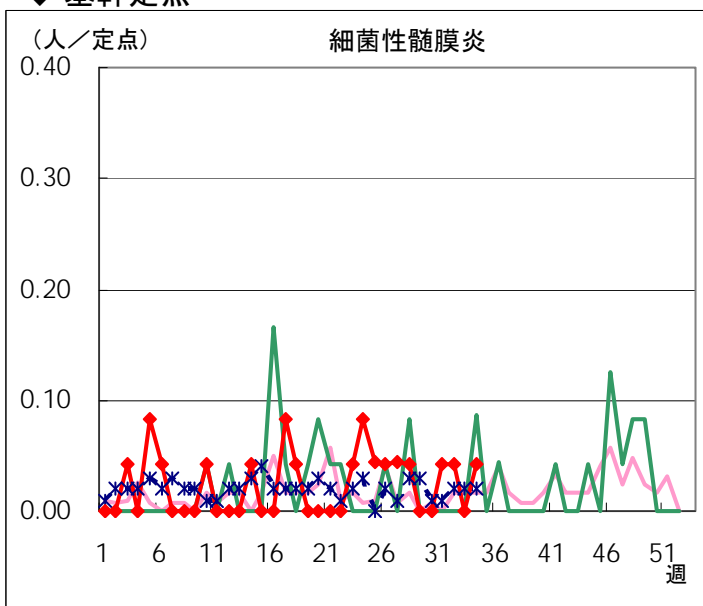


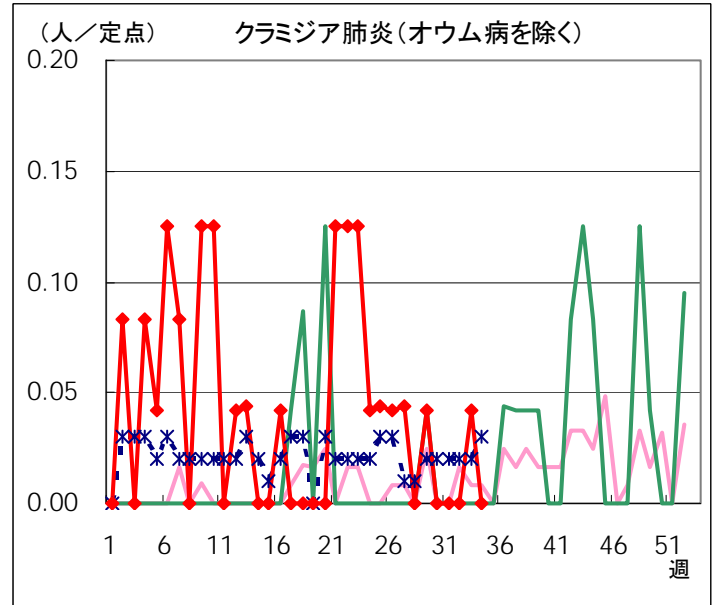
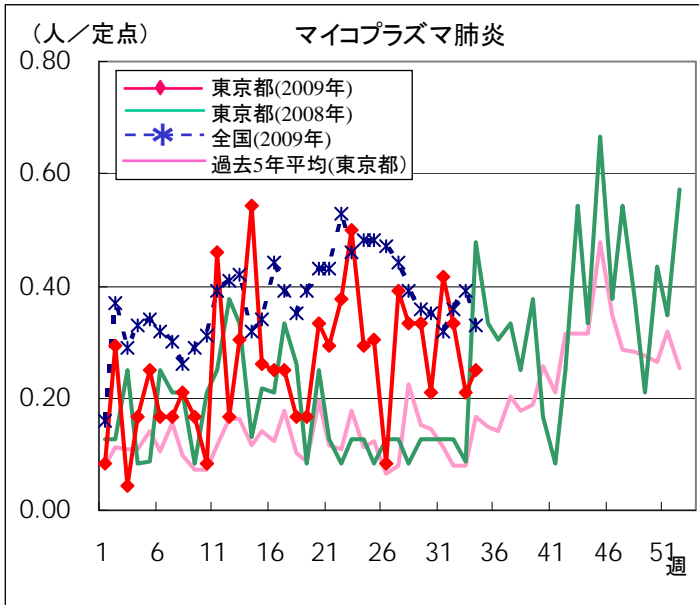


◆ 眼科定点

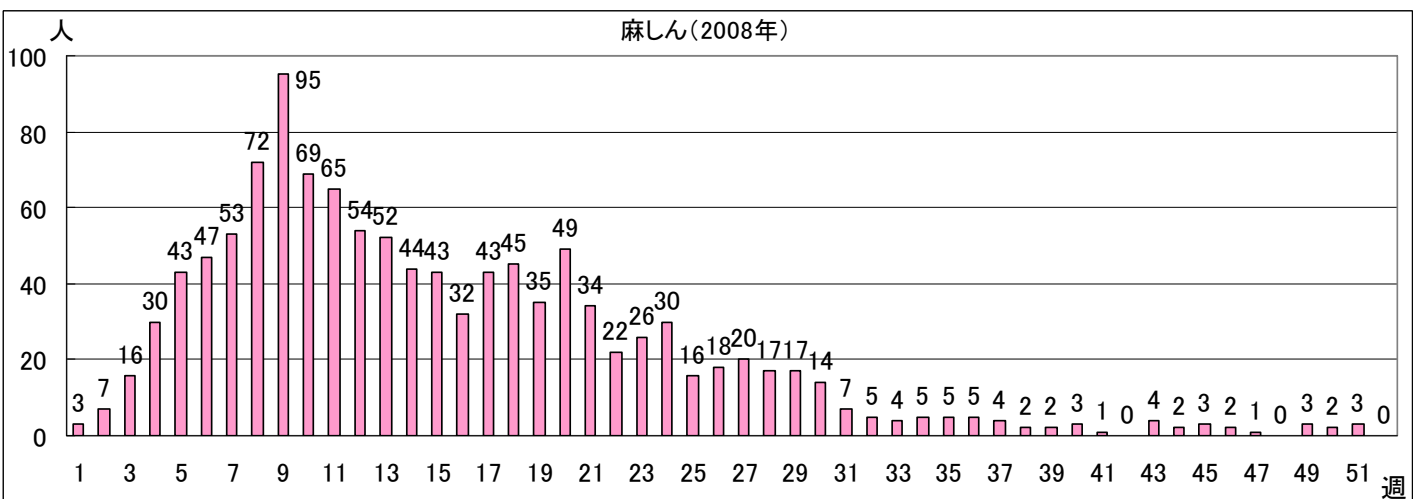
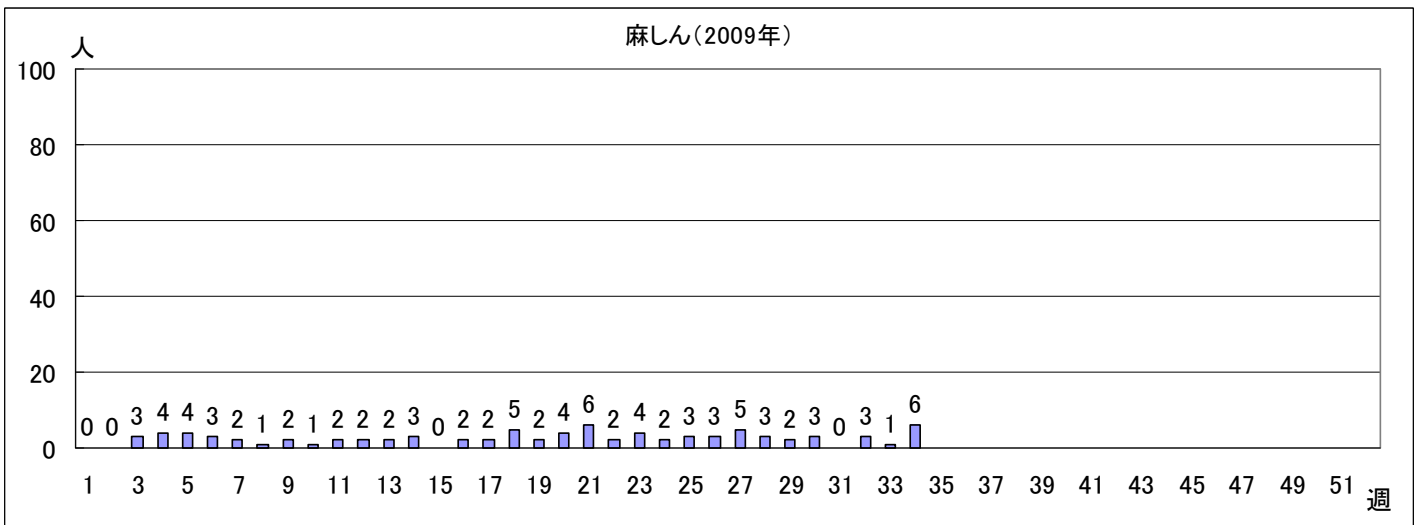


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年34週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント	
	A	B		
みなと	5		A型5名(9歳、12歳、11歳2名、6歳)	
	6	2		
新宿区	4			
	4			
	1			A型、PCRで新型と確定。
台東	2			
	1			
	4			
江東	2			
	4			
	1			
品川区	6			
	2			
	4			
目黒区	1		台湾渡航者。	
	4			
	2			
大田区	8			
	4			
	1			
	5			
				今週は4名です。
世田谷区	4		すべてA型。40歳代2名と10か月児は家庭内感染。	
	1			
	15			
	2			
				10名ほど簡易検査した結果、全例陰性。
渋谷区	3			
中野区	2			
	1			
	9			A型9名、臨床診断1名。
	3			
	1			A型1名、臨床診断1名。
	9			A型9名、臨床診断1名。
杉並	1			
	5			
池袋	1			
	4			
	1			

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
北区	1		
	9		
	1		
	1		A型(多分新型と思われます。)先週の4名はすべて新型でした。
西多摩	4		
	5		8/20-8/22までの診療。
	1		
南多摩	1		
	9		
	4		
町田	1		
	1		
	2		
多摩立川	1		
多摩小平	4		PCR未検にて新型かどうかは不明。
	14		
			4名。軽症例が多い。咳を伴うことが少ない。家族例、グループ内感染が目立つ。
	4		3名は同一家族。
	4		
八王子市	1		
	1		
	4		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
8/6	細気管支炎	7M	咽頭拭い液	RSウイルス	遺伝子
8/7	急性咽頭炎	6	咽頭拭い液	EBウイルス	
8/7	流行性角結膜炎	33	結膜拭い液	アデノウイルス	
8/7	流行性角結膜炎	27	結膜拭い液	アデノウイルス	
8/7	気管支炎、ヘルパンギーナ	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/8	髄膜炎	15	髄液	ムンプスウイルス	
8/9	流行性角結膜炎	54	結膜拭い液	アデノウイルス	
8/10	熱性けいれん	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
8/10	急性上気道炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
8/11	手足口病	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
8/12	急性腸炎、不明発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型、7型 サイトメガロウイルス	
8/14	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法による亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)
33週	0	0	0	16
今シーズン累計	223	111	102	59

*AH1pdm: 新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/HINI)

オセルタミビル(タミフル)耐性ウイルス株の検出状況

8/26現在

調査方法	A/H1N1分離株 (Aノ連型)	耐性株
感染症発生動向調査	33	33
学級閉鎖等	20	20

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		26週	27週	28週	29週	30週	31週	32週	33週
ウイルス	アデノウイルス	8	13	4	6	4	4	3	4
	ライノウイルス	1	4	4	6		1	1	
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	5	5	16	5	5	18	6	2
	単純ヘルペスウイルス		1	5		1			
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	3	6	5	3	1	6	2	4
	EBウイルス	5	2	4	3	1	2		1
	サイトメガロウイルス				1			1	1
	ムンプスウイルス	2	2	1	5	3	2	1	1
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19			1			1	1	
	RSウイルス					1	1		1
	ノロウイルス						1		
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB								
新型インフルエンザウイルスAH1pdm			1	3		18	21	16	
デングウイルス(抗体を含む)	1								
その他のウイルス	7	12	13	1	9	3			
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌		5	1				3	
	その他の細菌	1	3	2			2	3	
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年26週～2009年33週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	70	45	76	22	71	6	6	9	5	8	1	31	10				151	
ウイルス	アデノウイルス		7	10	3	1	2	6				4	1				12	
	ライノウイルス		1	3	1		1					2	3				6	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1	10	9	3	11	1		1	5		6	1					14
	単純ヘルペスウイルス		3			1			2	1								
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7		1	3								11	1					14
	EBウイルス		2			2			1			4	5					4
	サイトメガロウイルス											1						2
	ムンプスウイルス					10								5				2
	麻疹しんウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1	2					
	RSウイルス			3														
	ノロウイルス				1													
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB																		
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	54	1	3														1	
デングウイルス(抗体を含む)																	1	
その他のウイルス		10	26	1		1											7	
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		4					3										2
その他の細菌		4	3	1			1										2	
その他の病原体																		

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2009年7月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	95	1.73	55	55
		女	90	1.64		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	39	0.71		
		女	30	0.55		
	尖圭コンジローマ	男	35	0.64		
		女	26	0.47		
	淋菌感染症	男	66	1.20		
		女	11	0.20		
	膺トリコモナス症*	男	1	0.02		
		女	19	0.35		
梅毒様疾患	男	6	0.11			
	女	0	0.00			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	44	1.91	23	24
		女	45	1.96		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	28	1.22		
		女	29	1.26		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	1	0.04		
		女	0	0.00		
2009/8/10						

* 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2009年7月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	1		2	2		
20～24歳	10	1	2	18		1
25～29歳	27	8	9	13	1	1
30～34歳	17	12	6	12		1
35～39歳	11	6	5	7		3
40～44歳	12	5	5	3		
45～49歳	13	3	2	6		
50～54歳	2		3	1		
55～59歳	1	3		3		
60～64歳	1	1		1		
65～69歳			1			
70歳～						
合計	95	39	35	66	1	6
先月数	106	31	42	67	1	11
増減数	-11	8	-7	-1		-5

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	15	3	1	2		
20～24歳	32	8	8	3	5	
25～29歳	20	6	9	2		
30～34歳	10	2	5	3	4	
35～39歳	9	4	2		3	
40～44歳	2	1	1	1	1	
45～49歳	1	2			1	
50～54歳	1	3			3	
55～59歳		1				
60～64歳					2	
65～69歳						
70歳～						
合計	90	30	26	11	19	
先月数	105	62	26	15	13	
増減数	-15	-32		-4	6	

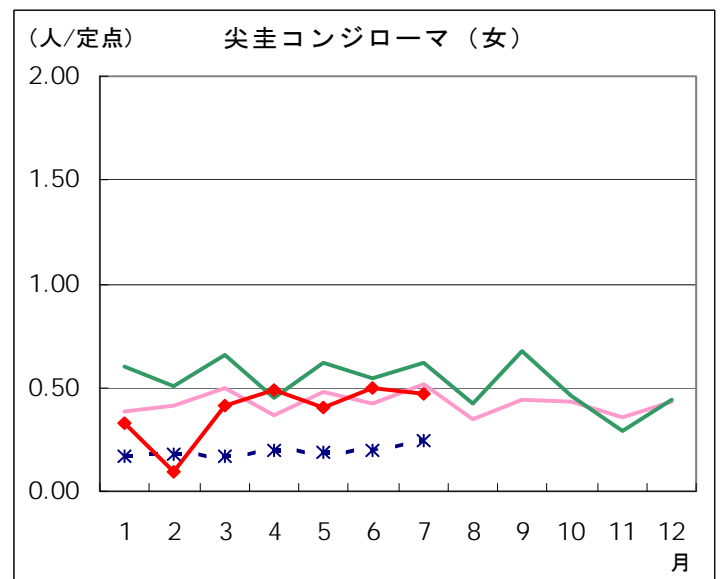
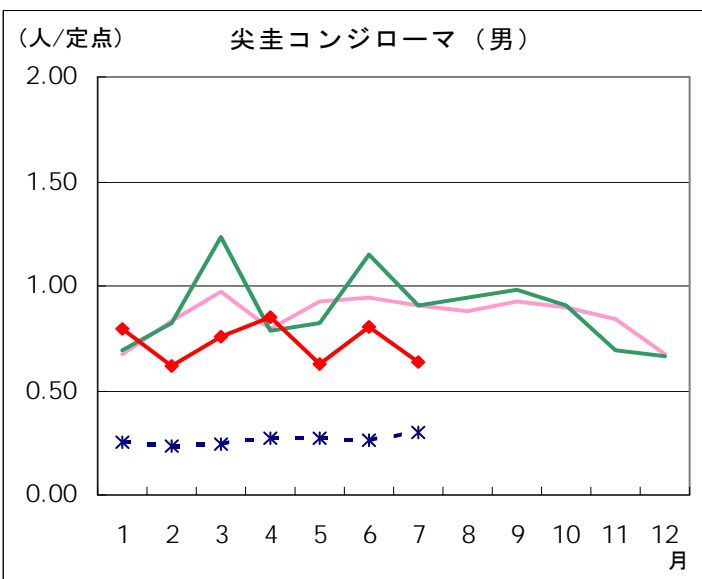
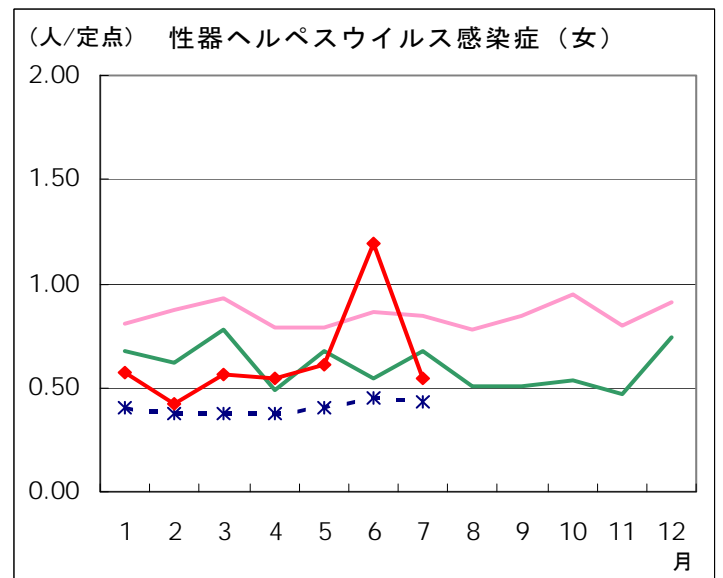
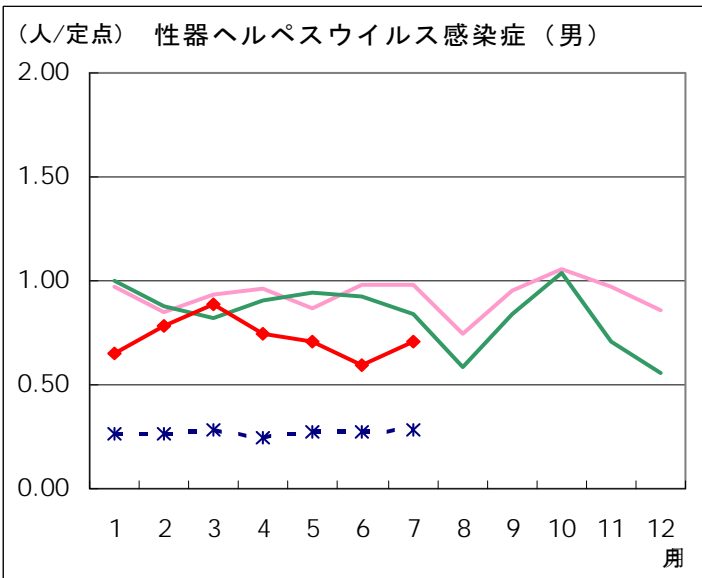
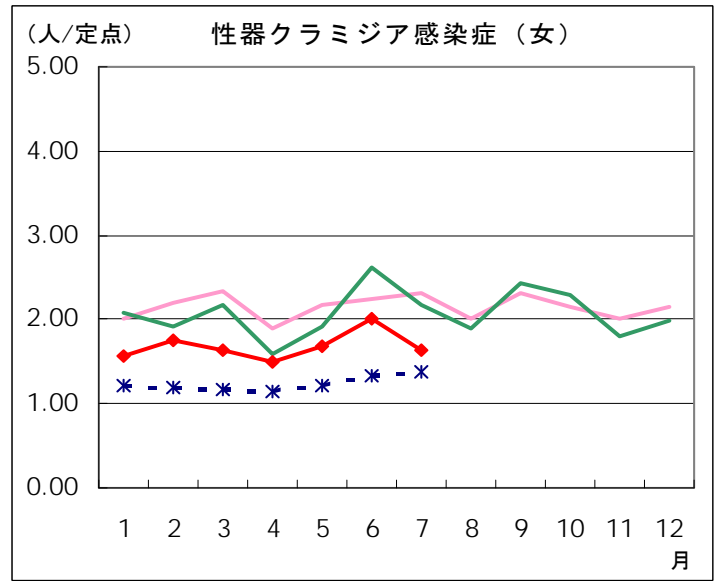
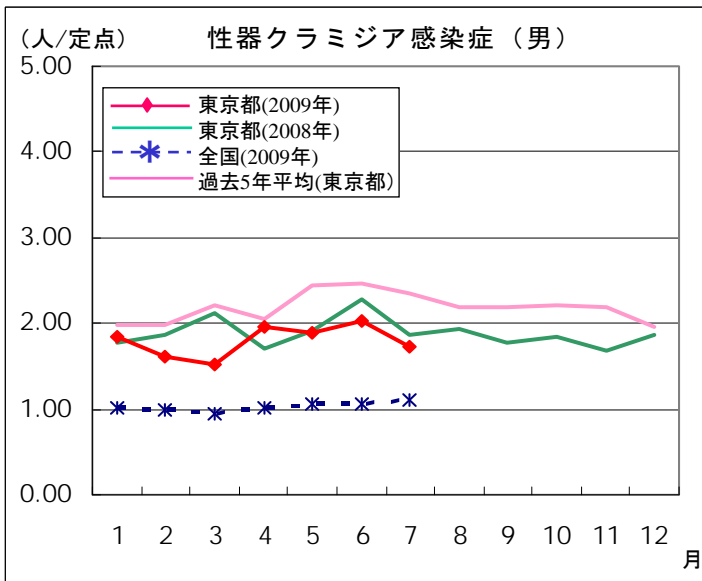
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2009年7月

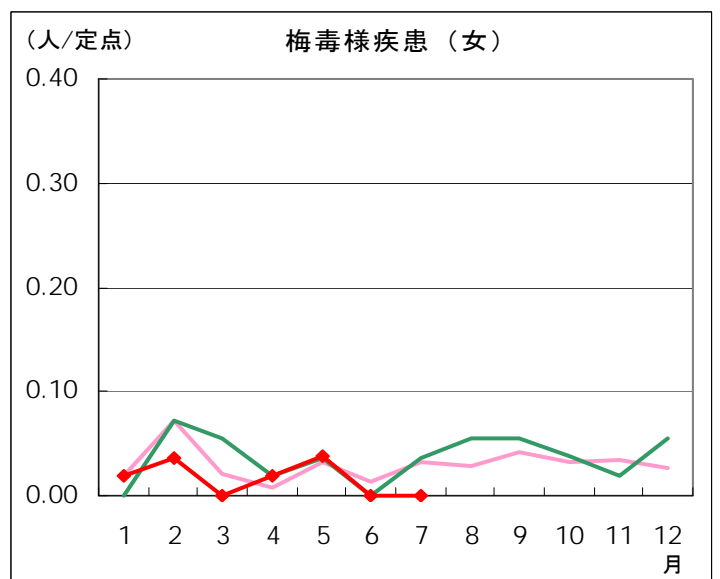
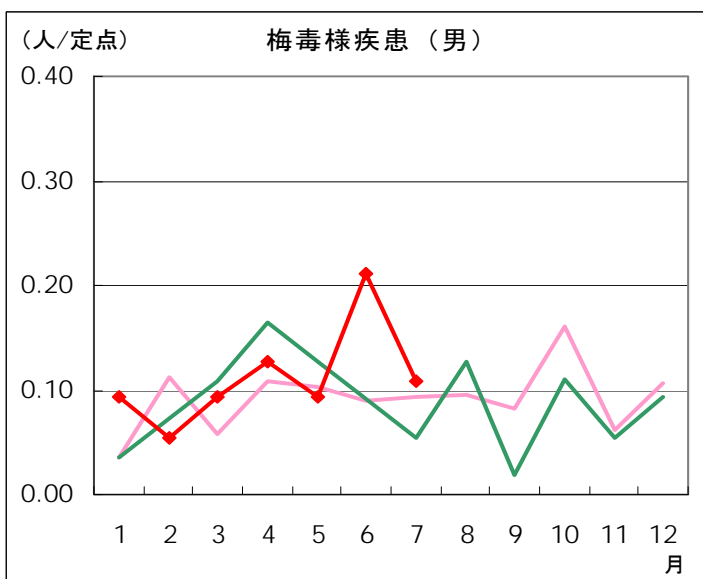
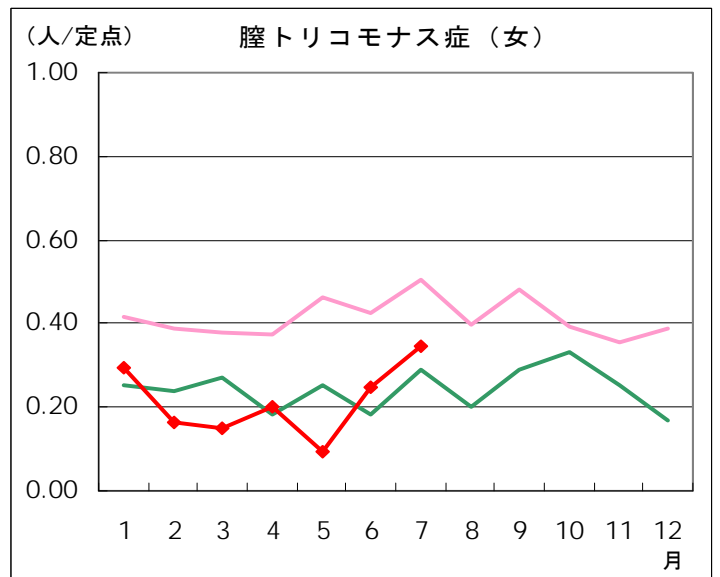
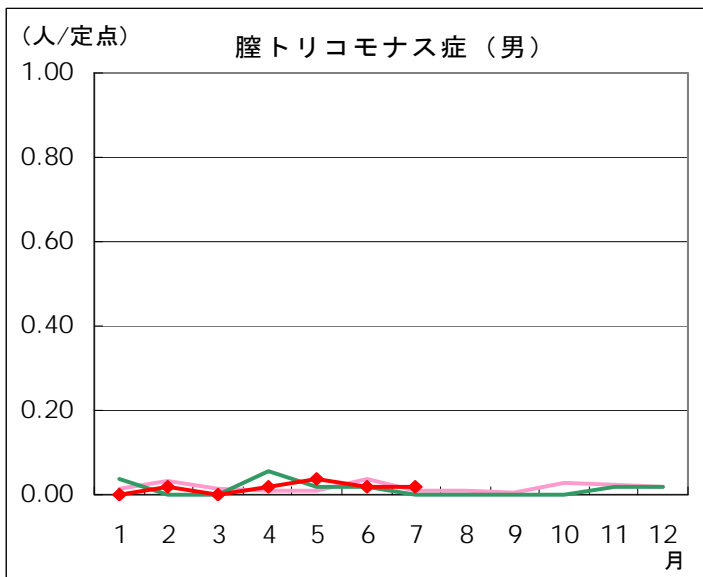
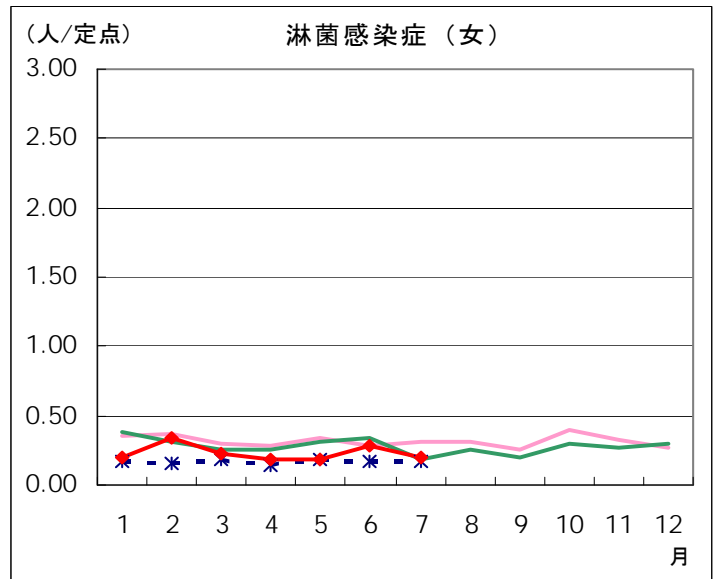
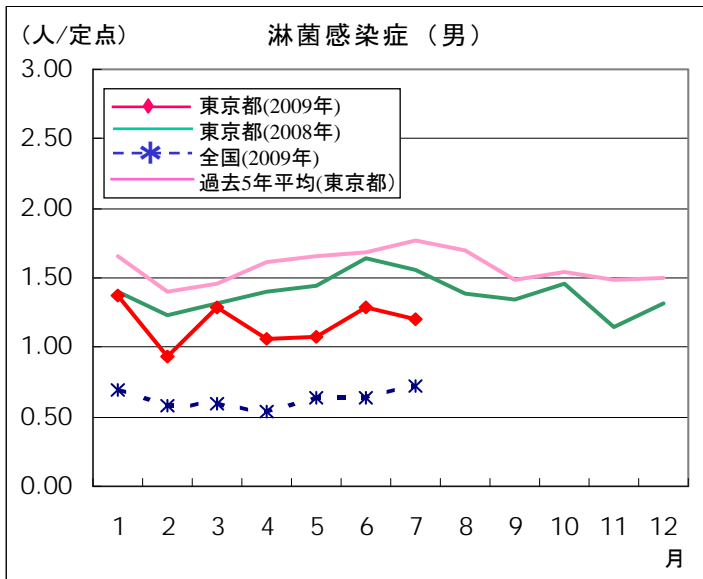
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	15	3	5	8		1
中央区	3	6	2	1	3		
みなの	2	2	1	1			
新宿区	7	21	19	18	19		3
文京	1	1	2		2		
台東	2						
墨田区	2	1		1	1		
江東区	2	12	4	3	8		
品川区	1						
大田区	2	2			1		
渋谷区	5	9			4	1	
中野区	2	3	1		4		
杉並	2	1			2		
池袋	3	13	5	6	4		2
北区	1		1		1		
荒川区	1						
板橋区	2	1			3		
足立	2	4	1		3		
江戸川	2	3			3		
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3	1					
多摩小平	1						
合 計	55	95	39	35	66	1	6
定点当たり		1.73	0.71	0.64	1.20	0.02	0.11

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2						
中央区	3	2	2	1		1	
みなの	2	13	4	2	1	2	
新宿区	7	11	9	5			
文京	1						
台東	2	2	1				
墨田区	2					1	
江東区	2						
品川区	1						
大田区	2	2					
渋谷区	5	4	4	10	1		
中野区	2	4			1	2	
杉並	2	1	2			1	
池袋	3	6	1	3	1	2	
北区	1		1				
荒川区	1	1	1				
板橋区	2	8	1		1		
足立	2	1					
江戸川	2	10			1	4	
八王子市	4	9		1	2	2	
町田	1		2			2	
多摩立川	2	16	2	4	3	2	
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	55	90	30	26	11	19	
定点当たり		1.64	0.55	0.47	0.20	0.35	

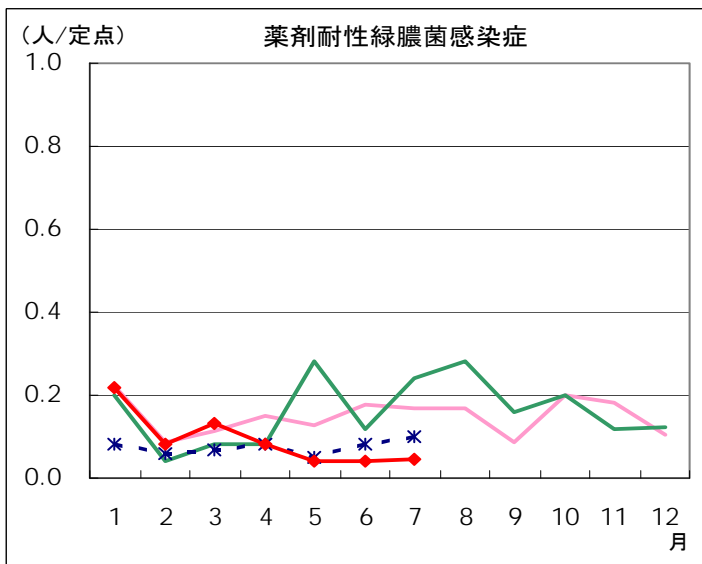
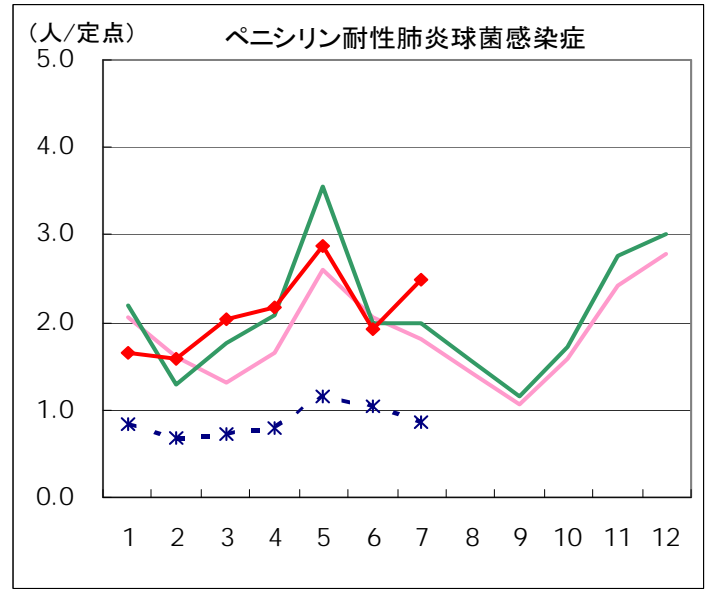
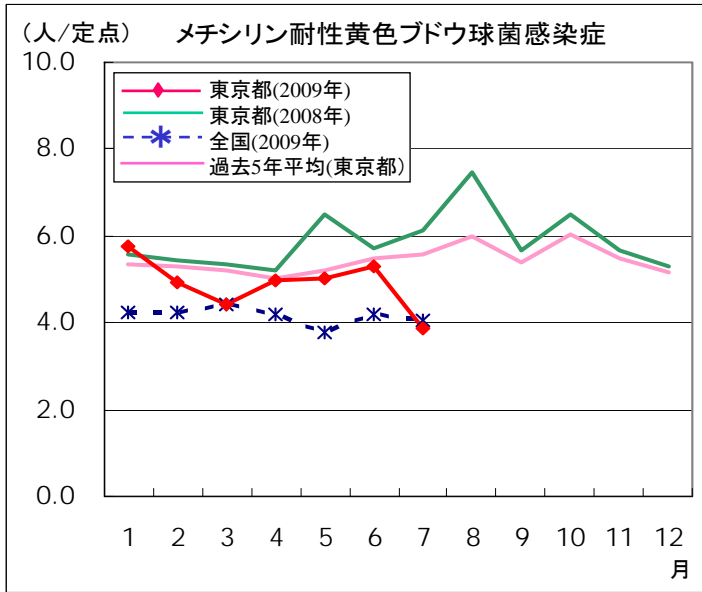
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2009年7月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
7/2	陰茎コンジローマ	34	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
7/9	尿道炎	33	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
7/14	尿道炎	37	男	尿	クラミジア	遺伝子
7/14	膣炎	34	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	クラミジア	
7/15	淋菌性尿道炎	33	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
7/16	陰茎コンジローマ	42	男	その他	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
7/16	尿道炎	29	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	クラミジア、淋菌	遺伝子 分離同定
7/16	尿道炎	48	男	尿	クラミジア	遺伝子
7/16	尿道炎	49	男	尿	クラミジア	
7/21	尿道炎	47	男	尿	クラミジア	
7/22	トリコモナス膣炎	50	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	トリコモナス	
7/22	淋菌性尿道炎	30	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	クラミジア、淋菌	
7/22	尿道炎	43	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定